

内科 I に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院内科 I

[研究責任者] 大泉 聰史 (内科 I・准教授)

[研究の目的] 外科的に切除された小細胞肺癌の分子発現及び遺伝子変異を検討し、臨床的項目との関連、予後因子あるいは治療標的分子の可能性を示す因子について検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2003年1月から2013年1月までの10年間に病理組織学的に小細胞肺癌の治療と診断され、肺癌切除を施行された方

●研究の手順

上記期間中に保存された小細胞肺癌の切除標本の一部を免疫染色によって癌関連タンパク発現を見ること、そして切除標本より作製したDNAを次世代シークエンサーに用いて一部の癌関連遺伝子変異を調べることを行います。親から子へとつながっていくような、生まれながらに持っている個人の遺伝情報などを調べることは行いません。しかし偶然に何らかの遺伝情報やもともとの癌とは別の癌がある可能性などが判明する可能性は完全には否定できません。これらの情報をいつでも患者さんのみが知ることは可能ですし、遺伝カウンセリングの専門医を紹介することもできます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しませんのでご安心ください。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 内科I/腫瘍内科外来

電話 011-706-5752

担当医師 大泉 聰史